



スズデン株式会社

第57期(2009年3月期) 決算説明会

2009年5月15日





1. 企業概要



■ 社 是

「誠 実」

■ コアコンピタンス

「もの造りサポーターティングカンパニー」

経営の基本方針(1)

【社会的責任】

国・地方自治体への納税を基本とし、かつ世界の将来を担う世代や教育機関を対象とした継続的な寄付と、地域社会や災害復興を目的とした寄付を行ってまいります。

【投資家の皆様】

配当性向33%を基本に考えてまいります。

【お客様】

お客様が望む商品・ソリューションを的確に提案し、商品品質・サービス品質を向上させるとともに、お客様の多様なニーズに適切かつ迅速にお応えし、お客様の満足度を高めてまいります。

「顧客第一」 — 買っていただく喜び —

経営の基本方針(2)

【社 員】

「社員一人ひとりの自立が企業の成長につながる」を基本とし、社員は自己の能力を最大限に発揮し、会社は個人を尊重して働きがいのある場を提供し、会社も個人も共に成長できる経営を行ってまいります。

【共 育】

お客様の満足度を高めるため、社員一人ひとりに適切な教育・訓練及び経験の機会を提供し「共に育つ」を教育理念としてまいります。

【地域社会】

循環型社会構築に向け地域社会との融和を図り、企業市民として順法・地球環境の向上・安全を基本として活動してまいります。活動を具体化するため、環境方針を定め行動します。

ビジネスモデル

「もの造りサポーティングカンパニー」

ISO9001 ・ ISO14001



当社システムエンジニアによる技術支援を柱に、高機能商品・システムのご提案やアプリケーションソフトのご提供をメーカーに代わって行う「メーカー代行機能」、独自の情報・物流システムで構成される「ロジスティック機能」、お客様の一括購買を代行する「購買代行機能」、お求めやすい価格・小ロットによるオリジナルブランド「UBON」などの機能を最大限に発揮し、広くもの造りの現場に貢献しています。

取扱い商品



- スイッチ ●リレー ●タイマー ●センサー
- PLC ●温度調節器 ●視覚認識装置
- 制御盤 ●表示機器 等

FA機器分野



- 組込み用ボードコンピュータ
- パソコン ●周辺機器 ●パソコンパーツ
- ネットワーク機器 等

情報・通信機器分野

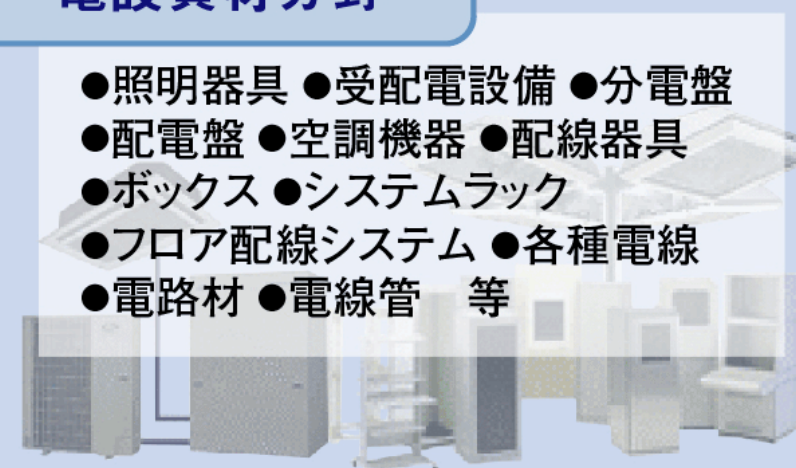
電子・デバイス機器分野

- 基板用部品 ●コネクタ ●半導体
- 安定化電源 等



電設資材分野

- 照明器具 ●受配電設備 ●分電盤
- 配電盤 ●空調機器 ●配線器具
- ボックス ●システムラック
- フロア配線システム ●各種電線
- 電路材 ●電線管 等





2. 第57期(2009年3月期) 決算概要



連結業績概要(1)

2009年3月期上期

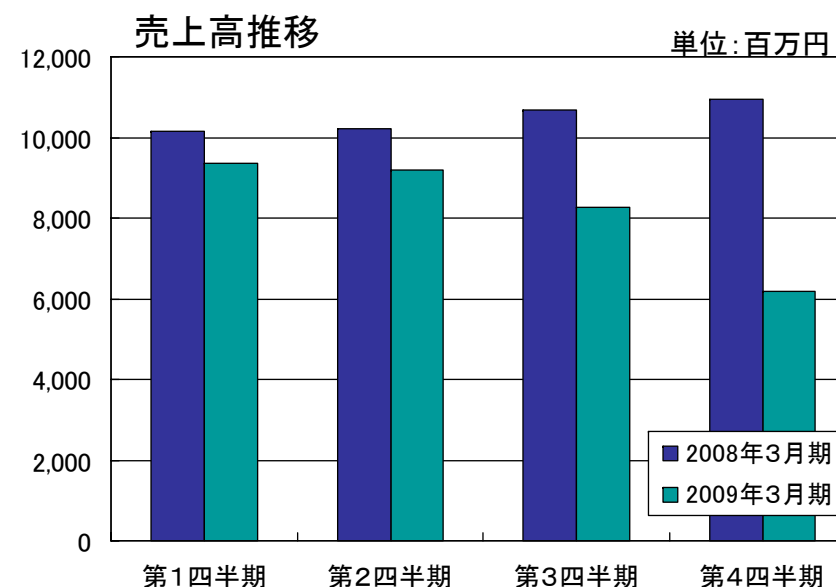
半導体製造装置メーカー等を中心に生産と設備投資が弱含みで推移

2009年3月期下期

第3四半期後半から景気後退が鮮明となり全業種が低調に推移

売上高 前期比 ▲ 20.9 %
 営業利益 前期比 ▲ 59.8 %
 経常利益 前期比 ▲ 56.7 %
 当期純利益 前期比 ▲ 58.8 %

	2009年3月期	前期比
1株あたり 当期純利益 (潜在株式調整後)	27円30銭	▲ 39円04銭
ROE	2.7 %	▲ 3.9 %
自己資本比率	63.6 %	7.1 % 増
1株あたり 純資産	1012円60銭	▲ 8円99銭

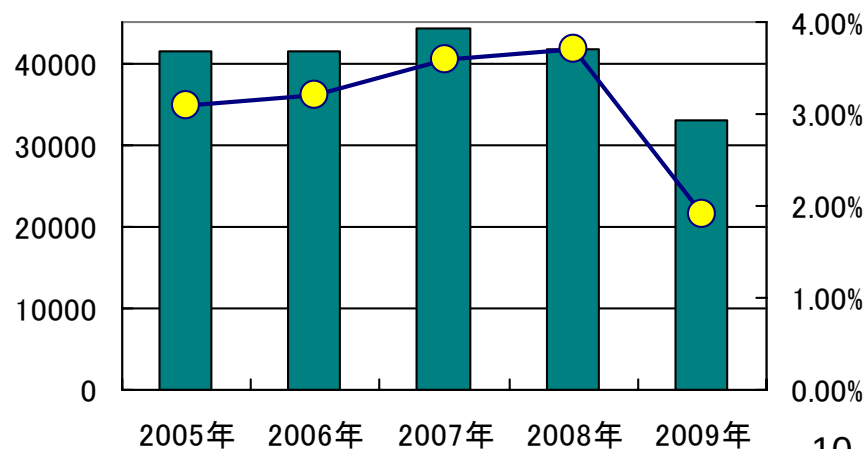


連結業績概要(2)

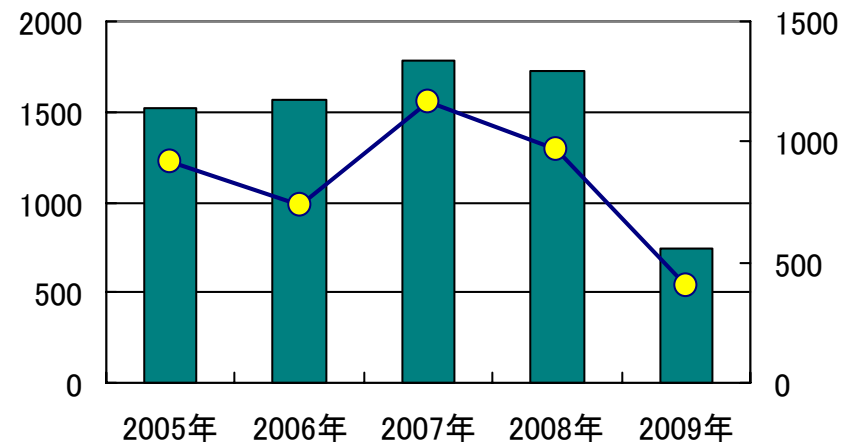
単位: 百万円

	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	見込 (09/2開示)	差異
売上高	41,375	41,439	44,169	41,772	33,034 (▲ 20.9%)	33,900	▲865 (▲2.6%)
営業利益	1,279	1,336	1,559	1,542	620 (▲ 59.8%)	637	▲16 (▲2.6%)
(営業利益率)	3.1%	3.2%	3.5%	3.7%	1.9 %	1.9%	—%
経常利益	1,520	1,567	1,778	1,726	746 (▲ 56.7%)	756	▲9 (▲1.2%)
(経常利益率)	3.7%	3.8%	4.0%	4.1%	2.3 %	2.2%	0.1%
当期純利益	921	733	1,169	968	399 (▲ 58.8%)	383	16 (4.2%)
ROE	7.2%	5.5%	8.3%	6.6%	2.7 %	—	—

■ 売上高 ● 営業利益率 単位: 百万円



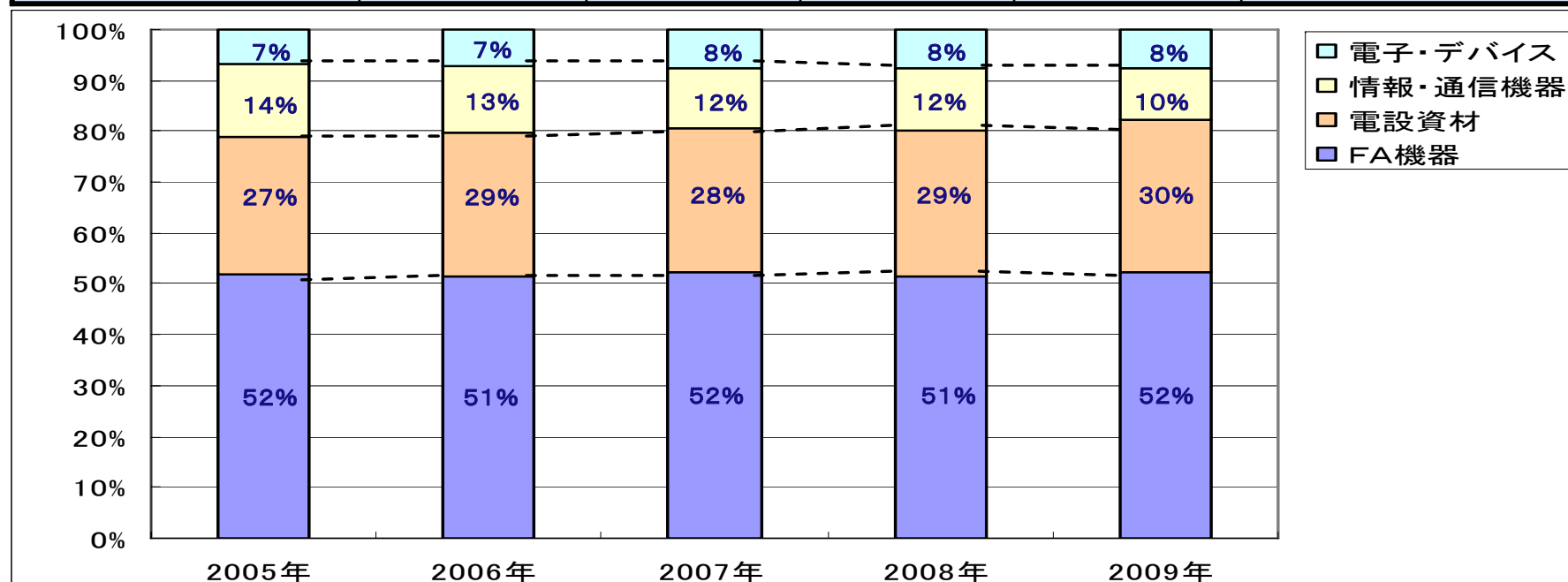
■ 経常利益 ● 当期純利益 単位: 百万円



連結売上高(商品分野別)

単位: 百万円

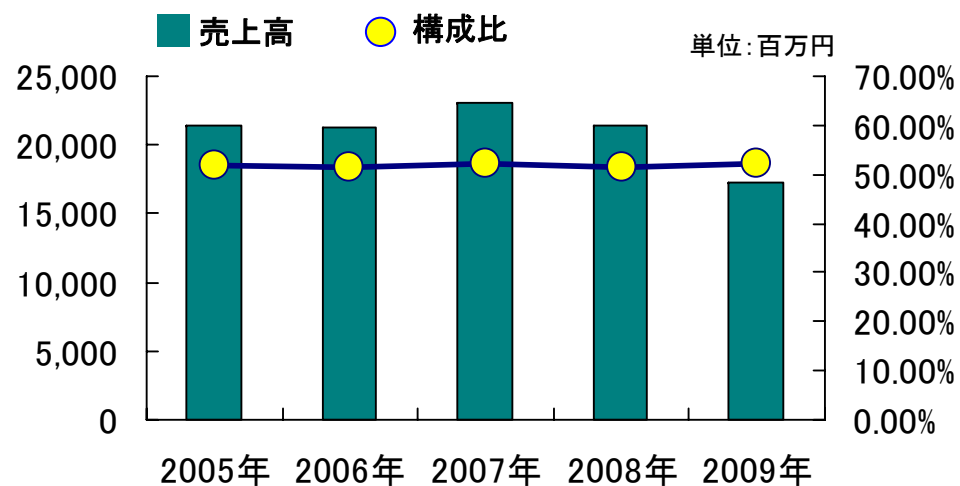
	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
FA機器	21,393	21,256	23,073	21,460	17,323(▲19.3%)
情報・通信機器	5,908	5,451	5,264	5,144	3,306(▲35.7%)
電子・デバイス機器	2,846	2,894	3,347	3,140	2,481(▲21.0%)
電設資材	11,227	11,836	12,483	12,027	9,923(▲17.5%)
合計	41,375	41,439	44,169	41,772	33,034(▲20.9%)



FA機器分野(連結)

単位: 百万円

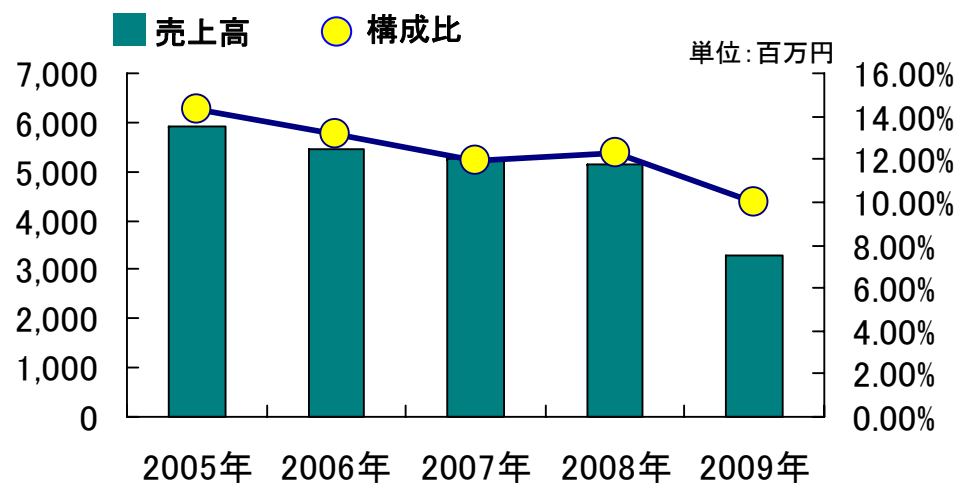
	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
売上高	21,393	21,256	23,073	21,460	17,323
伸長率	13.7	▲ 0.6	8.5	▲ 7.0	▲ 19.3
売上高 構成比	51.7%	51.3%	52.2%	51.4%	52.4%



情報・通信機器分野(連結)

単位:百万円

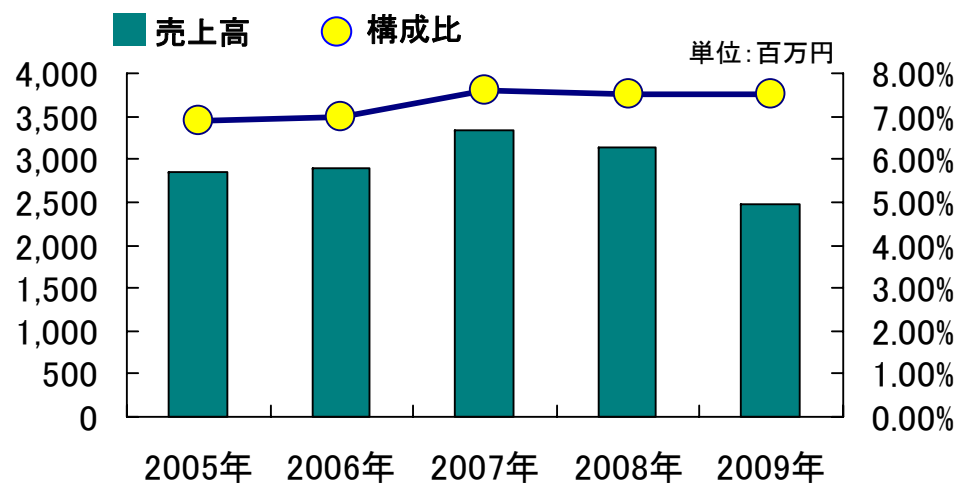
	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
売上高	5,908	5,451	5,264	5,144	3,306
伸長率	7.6	▲ 7.7	▲ 3.4	▲ 2.3	▲ 35.7
売上高 構成比	14.3%	13.2%	11.9%	12.3%	10.0%



電子・デバイス機器分野(連結)

単位: 百万円

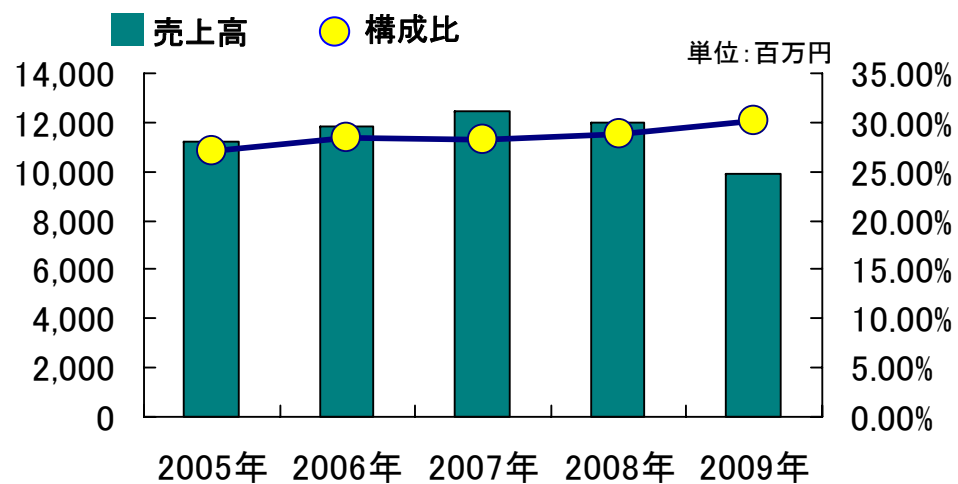
	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
売上高	2,846	2,894	3,347	3,140	2,481
伸長率	16.6	1.7	15.6	▲ 6.2	▲ 21.0
売上高 構成比	6.9%	7.0%	7.6%	7.5%	7.5%



電設資材分野(連結)

単位: 百万円

	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期
売上高	11,227	11,836	12,483	12,027	9,923
伸長率	7.2	5.4	5.5	▲ 3.7	▲ 17.5
売上高 構成比	27.1%	28.5%	28.3%	28.8%	30.1%



要約連結貸借対照表(資産の部)

単位: 百万円

	2008年3月期	2009年3月期	増減額(前期比)
流動資産	18,573	14,199	▲4,373
（現金及び預金）	4,698	5,490	792
（受取手形及び売掛金）	11,913	7,203	▲4,710
（たな卸資産）	1,578	1,135	▲442
（繰延税金資産）	159	86	▲73
固定資産	7,875	9,055	1,180
（有形固定資産）	6,491	7,728	1,237
（無形固定資産）	186	170	▲15
（投資その他の資産）	1,197	1,156	▲41
資産合計	26,448	23,255	▲3,193

- ・総資産合計は、232億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億93百万円減少しました。
- ・流動資産は、受取手形及び売掛金47億10百万円、たな卸資産4億42百万円の減少と、現金及び預金7億92百万円の増加で、43億73百万円減少いたしました。
- ・固定資産は、主に千葉県松戸市に建設した東京物流センターの取得等による建物及び構築物の増加12億11百万円により、11億80百万円増加いたしました。

要約連結貸借対照表(資本・負債の部)

単位: 百万円

	2008年3月期	2009年3月期	増減額(前期比)
流動負債	8,906	4,606	▲4,299
（支払手形及び買掛金）	5,955	3,462	▲2,493
（短期借入金）	1,811	502	▲1,309
固定負債	2,609	3,847	1,237
（長期借入金）	1,460	2,655	1,195
（退職給付引当金）	995	1,002	7
負債合計	11,516	8,453	▲3,062
（資本金）	1,819	1,819	—
（資本剰余金）	1,532	1,532	—
（利益剰余金）	11,763	11,709	▲54
株主資本合計	14,893	14,839	▲54
評価・換算差額等合計	38	▲38	▲77
純資産合計	14,932	14,801	▲131
負債純資産合計	26,448	23,255	▲3,193

- ・負債合計は、前期比30億62百万円減少の84億53百万円となりました。
 - ・純資産合計は、前期比1億31百万円減少の148億1百万円となりました。
- 自己資本比率は、前連結会計年度末の56.5%から63.6%へ7.1%上昇いたしました。

要約連結キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円

	2008年3月期	2009年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	931	2,503
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,248	▲2,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	743	▲596
現金及び現金同等物の増・減(△)額	420	▲217
現金及び現金同等物の期首残高	4,277	4,698
現金及び現金同等物の期末残高	4,698	4,480

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、25億3百万円となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益7億19百万円、売上債権の減少47億3百万円、たな卸資産の減少4億36百万円の増加要因に対し、仕入債務の減少24億89百万円、法人税等の支払7億5百万円等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、21億4百万円の減少となりました。

これは主に千葉県松戸市に建設した東京物流センターの建設資金支払を要因とした有形固定資産の取得による支出10億48百万円、手許資金の短期運用を目的とした定期預金設定による支出10億10百万円等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

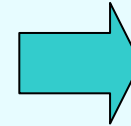
財務活動によるキャッシュ・フローは、5億96百万円の減少となりました。

これは主に配当金の支払4億53百万円によるものであります。

2009年3月期 戦略結果①

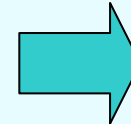
営業戦略

自動車、三品（食品、医薬品、化粧品）業界への注力の継続



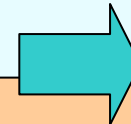
自動車業界 低調に推移
三品業界 低調に推移

大手顧客に対する全国ベースでの顧客ニーズへの直結と安定した商品の供給



宮城県大和町の「テクノヒルズ」内への物流加工拠点建設の準備を開始

少額取引顧客へのきめ細やかなサービス提供

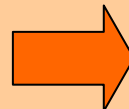


・クイックレスポンスと受発注業務精度の向上を継続的に実施
・Webでの在庫・価格照会システムやメールマガジンでの各種情報発信の継続

カスタマー営業部への受注業務の統合推進

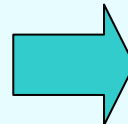


ローコストオペレーション
ノウハウ共有による教育統合



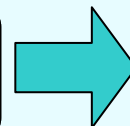
スキルアップと情報提供による
顧客対応能力のレベルUP

スズデンセミナーの定期開催



18回開催し、のべ57社の83名のお客様が参加

中堅の制御盤製造メーカーへの在庫品販売に注力・・・在庫回転率向上



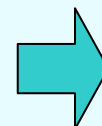
担当部門の売上は、順調に推移
全社の在庫回転率
08年3月期:26.5回転 ⇒ 09年3月期:29.0回転

2009年3月期 戦略結果②

商品戦略

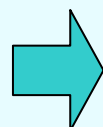
注力商材の拡販

- ①メカトロ商材
- ②エンベデッド(産業用組込みボードコンピューター)
…ES東京、ES名古屋、ES中部営業所を中心に拡販



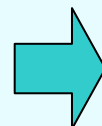
- ①メカトロ商材
堅調に推移
- ②エンベデッド
低調に推移

フィービジネスの拡大



契約件数、契約額とも順調に推移

オリジナルブランド「UBON」の拡売

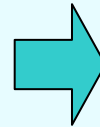


展示会への出展、出前展示会の実施
カタログの発刊、
専任による販促活動の推進、
拡販セールの実施

2009年3月期 戦略結果③

物流戦略

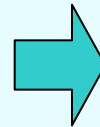
新物流センターへの対応
(千葉県松戸市)



プロジェクトにより新体制を構築

- ・ 2009年2月竣工
- ・ 2009年3月より稼動

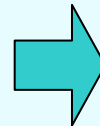
客先への直送推進



両国センターからの直送

57期は、新たに7営業所を開始

バーコードシステムの導入



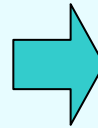
葛西センターで在庫時の検査として導入

・・・出荷品質の向上を実現

2009年3月期 戦略結果④

その他戦略

J-SOXへの対応
プロジェクトと外部コンサルタントで推進



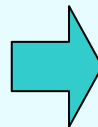
・文書化、自己点検、内部監査完了
・今後も課題の抽出と改善を継続

固定資産の見直し



両国・梅島・横浜・立川・埼玉等の
土地・建物の見直しを継続

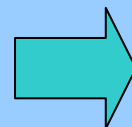
与信管理の徹底



こまめな見直しとファクタリングによる保全

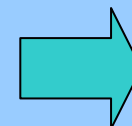
株主様に対する施策

業績に応じた配当の実施



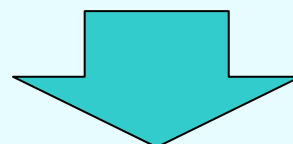
配当性向33%の継続

株主優待制度



毎決算期末(3月末)の株主様に
QUOカード(1000円)を贈呈

※2年を超えて保有頂いている
株主様には、2000円分



2008年9月末に比べ、約456名増加し
2009年3月末は、6,336名



3. 第58期(2010年3月期)の見通し



2010年3月期の見通し

電気機器・電子部品・産業機械業界

半導体・液晶製造装置関連機器メーカー
産業機器メーカー

生産活動、設備投資の回復は遅れるものと予測



年度を通じ厳しい状況下で
推移するものと予測

FA機器、電子・デバイス機器分野

下期より生産・設備投資は多少回復の兆しが見え始めるものの、通期では低調に推移するものと予測

情報・通信機器分野

法人向けカスタムパソコン、機器組込み用ボードコンピュータ等を中心に低調に推移するものと予測

電設資材分野

工場設備需要の低迷や着工の抑制が継続し、厳しい状況下で推移するものと予測

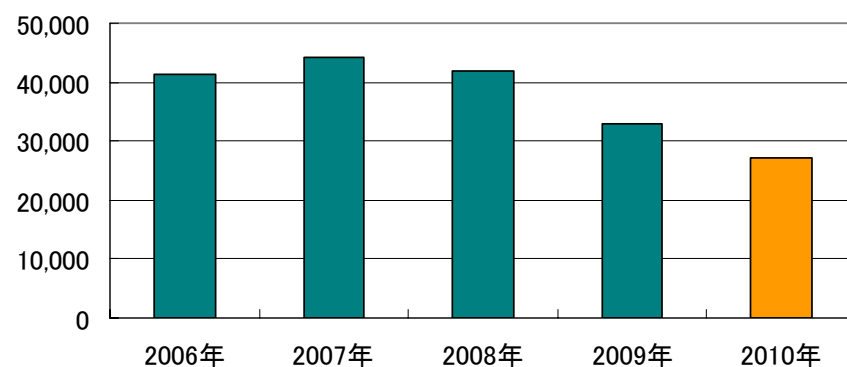
連結業績予想

単位:百万円

	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期(予想)
売上高	41,439	44,169	41,772	33,034	27,070 (▲18.1%)
営業利益	1,336	1,559	1,542	620	59 (▲90.5%)
経常利益	1,567	1,778	1,726	746	125 (▲83.3%)
(経常利益率)	3.8%	4.0%	4.1%	2.3%	0.5 %
当期純利益	733	1,169	968	399	26 (▲93.5%)
1株当たり当期純利益(円)	49.92	80.99	66.34	27.30	1.78
1株当たり年間配当金 (うち 中間/記念)	20円 (5円/2円)	29円 (8円/ー)	33円 (10円/10円)	14円 (8円/5円)	0円 (0円/ー)
配当性向(%)	40.1	35.8	49.7	51.3	—

■ 売上高

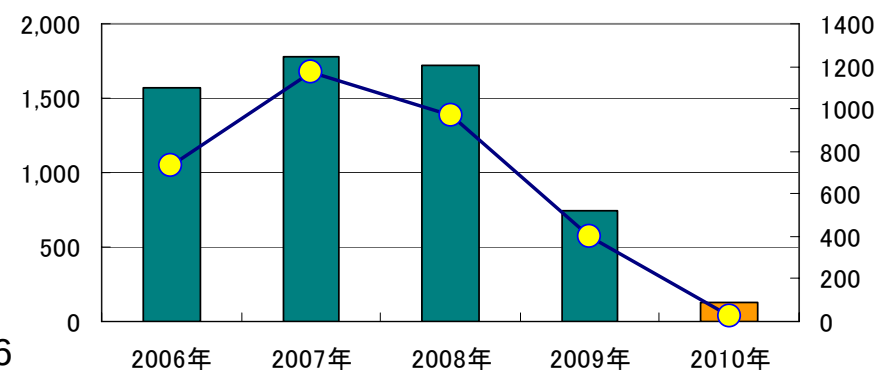
単位:百万円



■ 経常利益

● 当期純利益

単位:百万円



コスト削減の施策

■人件費の削減

1. 役員報酬の減額 30～50%の減額
※対象 …取締役、監査役、執行役員
2. 管理職給与の減額 3～5%の減額
3. 人件費の見直し

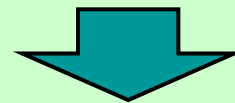
■その他経費の削減

2010年3月期 重点戦略

Re-Birth スズデン

【構造改革】

- ・販売先の拡大と販売商品の拡大による売上拡大
- ・利益率向上とローコストオペレーションによる利益確保



市場規模に応じて、収益を計上できる体制を構築する

■ 営業戦略
■ 技術戦略

■ 商品戦略
■ 物流戦略

営業戦略

経営資源の選択と集中によるエリア戦略、マーケット戦略強化のための営業体制(組織)を推進

- ①担当地域での課題解決提案を主体とした顧客密着営業
 - ・マーケッター活動強化 ……注力顧客の売上拡大計画の策定・進捗管理
 - ・視点、視線を変えて、新商材や新用途を提案
- ②注力業界への営業力強化の継続
自動車、三品(食品・医薬品・化粧品)業界に加え、二次電池と環境関連、鉄道・電力等のインフラ業界に注力
※特に食品、二次電池、環境関連業界へは、組織横断的な体制を構築し販路・商材拡大と収益拡大を目指す
- ③小額取引顧客への体制強化 ……プロジェクトによる施策策定と体制強化
販売形態毎の最適化施策と体制を構築
……店舗(俺コンアキバ)、インターネット通販(FA-Ubon)、首都圏営業所
- ④快適工場提案
生産設備だけでなく、品質・環境(省)・安全をキーワードに工場全体の快適化を提案
- ⑤組織改変 ……(1)アプリケーション東北営業部、コンポーネンツ営業部を新設
(2)営業所の統廃合実施
- ⑥与信管理のさらなる強化

商品戦略

主要仕入先商材

オムロン、パナソニック電工、日東工業等の国内有力メーカーからの直接仕入れによる安定供給での顧客満足獲得

【当社の主な取扱い商品】

オムロン …制御機器・FAシステム、電子部品等

パナソニック電工 …照明器具、配線器具、その他電設資材

日東工業 …ボックス、分電盤、制御盤、システムラック等

当社オリジナルブランド

ユーボン

- ◆少量販売と豊富な品揃え(多品種)
- ◆ユーボン販売推進部による売上拡大策の実施
 - ・取扱いメーカーの拡大
 - ・出前展示会の実施
 - ・加工品目の拡大(電線・端子台・ハーネス等)

注力商材

- メカトロ系商材 …メカトロ営業所を中心に拡大(電動シリンダ、ACサーボモーター、ロボット)
- エンベデッド(産業用組込みボードコンピュータ) …展示会への出展
「組込みシステム」のトータルソリューション提案の継続
- 在庫品、ベーシック商品の販売強化
- フィービジネス(商品ではなく、機能を提供するサービス)
「安心サービス」でお客様への経費削減、環境配慮の提案並びに取り扱い商材の更なる拡大
- 環境関連商材 …測定・監視機器、太陽光発電、LED照明等

技術戦略

■システムソリューション技術部

システムエンジニアの派遣により、顧客への技術支援を柱に最適商品のご案内など、きめ細やかなサービスを提供。

顧客ニーズに直結したソリューション提案営業による大型商談の獲得を狙う。

アプリケーションソフトを
主体としたシステム構築

+

データ処理を主体とした
システム構築

積極的な横展開 ⇒ お客様のシステム化支援

■アプリケーション営業部

センサー、PLC、視覚認識装置、メカトロ関連商品等の高機能商品を軸に顧客ニーズに直結した最適な製品の組み合わせによる提案営業を営業所との連携で行い、きめ細やかなサービスを提供。

ベルセミナーの継続(快適工場セミナー、商品セミナー)

物流戦略

顧客要求事項

- ・ジャストインタイム、ユニット・キット納品
- ・「トータルコストダウンとリードタイム短縮」＋「環境配慮」

当社物流の強み

- 物流・情報システムインフラ
- 環境配慮型梱包材の使用と通い箱(リユース)の利用促進

具体的な顧客満足の実現

- 製番、工番別のジャストインタイム納入
- 半完成品としてのユニット納品やキット納品
- 購買代行による顧客のコストダウン実現

今期の取り組み

- ・東京物流センターでの新物流システムの構築 …効率性、生産性向上の実現
- ・客先直送の推進 …翌日配送体制のさらなる推進
- ・バーコード検品システムの推進 …出荷品質向上
- ・大和プロジェクト …宮城県大和町「テクノヒルズ」での物流加工拠点構想の構築

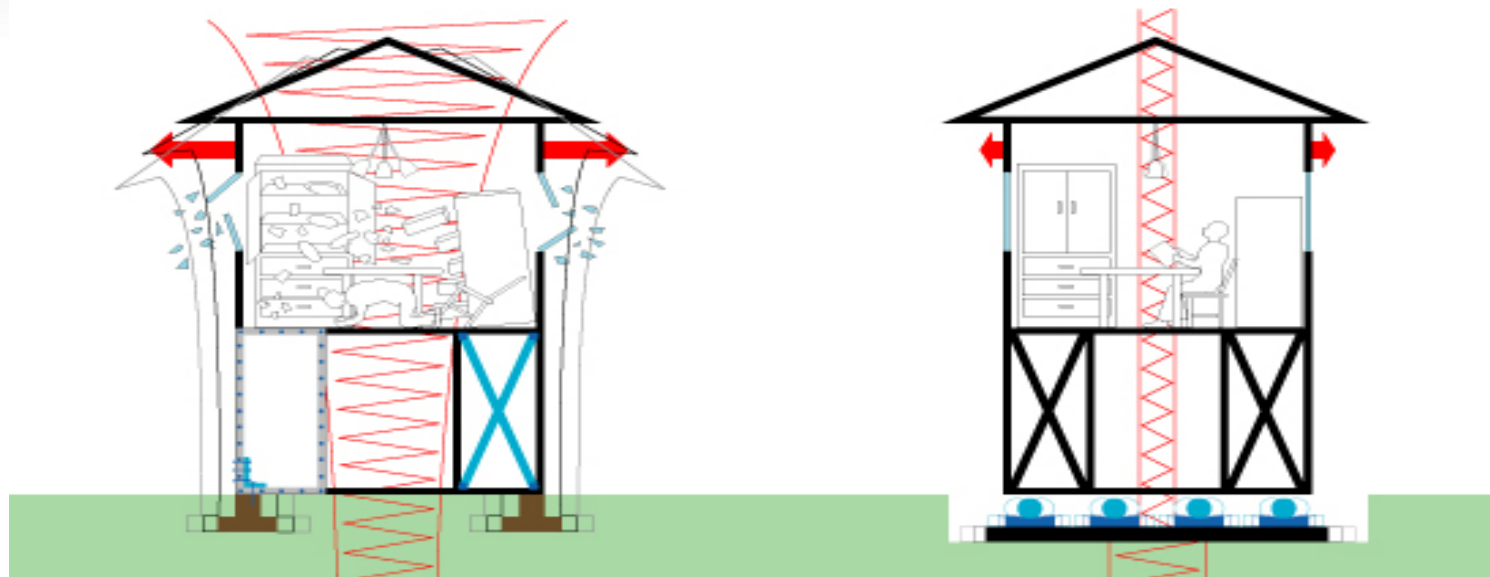
東京物流センターのご紹介 (千葉県松戸市)

■免震構造

災害時でもお客様から委託された商品を安全に保管いたします。
BCMの観点からも商社としての供給責任を果たすことができますので、安心してお取引いただけます。



※ 耐震と免震



耐震構造

頑丈な壁面を耐久性の高い金具でしっかり接合します。地震の揺れは建物に直接伝わり、上階では揺れが増幅される傾向があります。家具などが転倒して、被害を受ける可能性があります。

免震構造

建物と基礎の間に免震層を設けます。地震の揺れが建物に直接伝わらないため、揺れ自体が小さくなり、家具などの転倒・損壊を防ぎます。

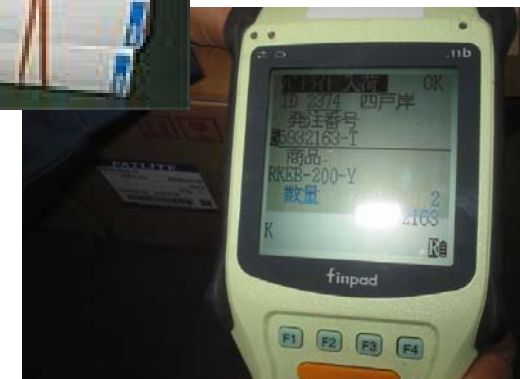
- 耐震構造** …地震に対する建物の損傷を少なくする方法で建物は地震と共に揺れます。
また、耐震構造は、地震力を小さくできずに2階床上では逆に増幅されます。
- 免震構造** …地震が起きても揺れにくい構造で、建物に及ぼす地震の力を小さくします。

東京物流センターのご紹介

■品質管理

ISO9001マネジメントサイクルによる業務品質を基盤に
バーコードによる検品システムで誤入荷・誤出荷を未然に防止し、
物流品質を高めております。

また、エアコン完備により安定した温度で商品を保管いたします。



その他施策①

■人材共育投資の強化を継続

■事業継続マネジメントの構築

(BCM: Business Continuity Management)

■CSR

- ・コンプライアンス
 - ・・・CSR要綱をパートタイマー・派遣社員を含む全社員へ配布
- ・中学生社会体験学習の受入れの継続
- ・寄付の継続

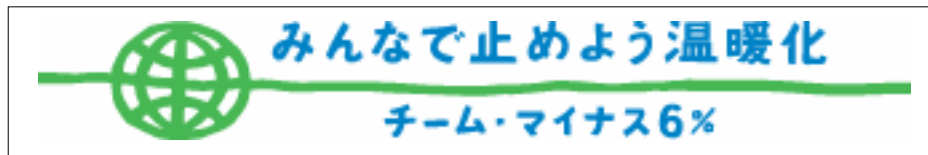
■固定資産見直しの継続

両国・梅島・横浜・立川・多摩等の土地・建物の見直しを継続

その他施策②

■環境への取組み

- ・「チームマイナス6%」への参加



- ・ ISO14001 マネジメントシステムによる継続的改善

- ① 省エネルギー、リサイクル、資源の有効活用の推進
- ② 環境配慮型商品の販売推進
- ③ 仕入先様との品質改善会議の継続
- ④ 環境に配慮した物流
- ⑤ 「安心サービス」の促進
- ⑥ ペットボトルキャップの回収

(400個=1kg=10円、20円でポリオワクチン1人分になります)



スズデン株式会社

【注意事項】本資料に記載されている、スズデン株式会社の現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。